

エコアクション21

環境活動レポート

対象期間: 令和3年1月～令和3年12月

(平成24年8月認証登録)



作成日: 令和 4年 3月15日



及常建設株式会社



目 次

1. 挨拶	1
2. 環境方針	1
3. 行動指針	1
4. 事業活動の概要・認証登録範囲	2
5. 実施体制	3
6. 環境目標	4
7. 環境活動計画	5
8. 環境活動の取組結果と評価	6 ~ 7
9. 次期の取組内容	8
10. 環境関連法規への違反、起訴等の有無	9
11. 地域貢献活動	9
12. 代表者の評価と見直し	10

1. 挨拶

当社は、1959年に創立した土木建設業者です。岩手県の内陸南部に位置し、みどり豊かな山々と田園に囲まれた土地で、公共工事を中心に地元に着した事業活動を行っております。

しかし、近年の温暖化は自然や農作物に影響を及ぼし、岩手県に於いても環境破壊が進んでいる事は否めません。

建設事業も、地球環境に対し様々な影響を及ぼしているという事を踏まえ、及常建設(株)の業務に携わるもの全員でこの問題を勉強し、積極的に環境保全に取り組んで参ります。

2. 環境方針

及常建設株式会社は、社会の一員としての責務である地球環境の負荷低減に努めるとともに、安全で自然豊かな環境を取り戻し、次世代へ継承する事を目的として活動いたします。

3. 行動指針

- ①電力・燃料使用量の削減に取組み、二酸化炭素排出量削減に努める。
- ②廃棄物の発生抑制・削減・リサイクルに取組み、適正な処理に努める。
- ③水の使用量・排水量の削減に取組み、貴重な水資源の保全に努める。
- ④土木建設工事を行う上で、環境に配慮した施工方法を検討し実施する。
- ⑤積極的に地域貢献（清掃活動等）を行い、環境社会活動に努める。
- ⑥事業活動に関連する法・規制は、確実に遵守することを誓約する。
- ⑦環境経営の継続的改善を誓約する。

制定日：平成24年 4月 1日
改定日：令和 2年 7月30日（第4版）

及常建設株式会社

代表取締役 及川晃一



4.事業活動の概要・認証登録範囲

1. 事業所名及び代表者名

事業所名： 及常建設株式会社
代表者名： 代表取締役 及川 晃一

2. 所在地

本社： 〒023-1131
岩手県奥州市江刺愛宕字朴ノ木222番地1
TEL : 0197-31-1511 FAX : 0197-31-1512
URL : https://oitsune.co.jp E-mail : info@oitsune.co.jp
資材置場： 岩手県奥州市江刺愛宕字朴ノ木219

3. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者： 常務取締役 及川 浩行
担当者： 事務局 小竹 眞紀子
菊地 奈弓
連絡先： TEL・FAX・メールは本社所在地と同じ

4. 事業内容

- ・ 特定建設業： 土木工事業・とび土工事業・舗装工事業・管工事業・水道施設工事業
岩手県知事許可（特-29）第298号
解体工事業 岩手県知事許可（特-1）第298号
- ・ 浄化槽設置工事業・給水装置工事業・排水設備工事業
- ・ 産業廃棄物収集運搬業：（自社発生物のみ運搬） 岩手県許可番号 030378120

5. 事業規模

資本金 2,000万円

年度	令和元年度 H31/01~R01/12	令和2年度 R02/01~R02/12	令和3年度 R03/01~R03/12
受注件数(件)	251	235	239
売上高(千円)	857,129	1,330,299	1,420,962
従業員数(人)	48	46	44
本社事務所延床面積	660.48(m ²)	660.48(m ²)	660.48(m ²)

6. 認証登録範囲

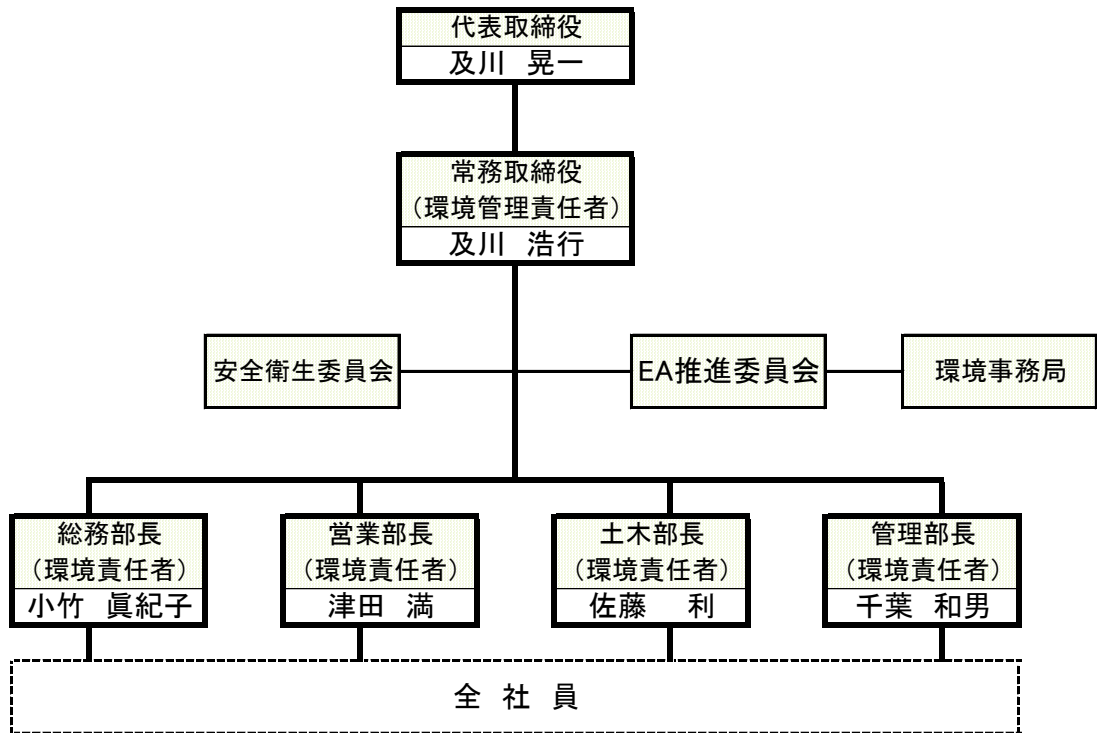
全社、全組織、全事業活動が認証登録範囲
産業廃棄物収集運搬は自社運搬なので、産業廃棄物処理業者向けガイドライン適用範囲外

7. 事業経歴、営業範囲

(事業経歴) 昭和34年 1月 有限会社及常建設として創業(江刺米里)
平成 6年 9月 及常建設株式会社に商号変更
平成16年 本社移転(江刺愛宕)
(営業範囲) 岩手県内

5. 実施体制

1. 組織



2. 役割・責任・権限

代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の策定並びに従業員への周知。 ・環境経営に関する統括責任。 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 ・環境管理責任者を任命。 ・課題とチャンス の明確化 ・実施体制の構築 ・環境管理責任者から報告を受け全体の評価と見直しを実施。
EA推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長は社長とし、環境管理責任者が召集する。 ・環境管理責任者の提案を審議し、決定事項を環境責任者は各部門に指示し実施する。 ・計画の進捗状況・ガイドラインへの適合状況を審議し、是正が必要と判断した場合には委員長が環境管理責任者に是正を勧告する。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者を補佐し、環境経営システムの構築、実施、管理を行う。 ・環境活動の取組結果を代表者及び環境管理委員会へ報告する。 ・教育訓練の計画。
環境責任者 (部門責任者)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの実施・管理・維持する。 ・各部門において、省資源・省エネ、節水等の奨励・実施・確認・是正。 ・従業員に対する教育訓練の実施。
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) ・取組データの集計、取りまとめ及び文書記録類の管理。
全社員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚し、能力向上に努める。 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

6. 環境目標

環境負荷実績(3年間)は、下表の通りでした。

項目		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	404,541	365,684	514,593
エネルギー	電力	KWh	62,928	59,122	54,972
	ガソリン	L	33,548	35,721	21,335
	軽油	L	108,519	95,542	166,950
	灯油	L	2,985	1,977	2,079
	LPG	kg	42.44	56.93	54.23
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg	470.5	373.0	454.0
	産業廃棄物	t	1,852	1,436	4,847

当社では、令和2年度を基準年として、当期・中期目標を下表の通り設定し、環境活動に取り組んでおります。

項目		単位	令和2年度 (基準年)	当期目標	中期目標		
				令和3年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
二酸化炭素排出量	電気・燃料の削減	kg-CO ₂	365,684	365,318	365,318	364,953	364,587
				0.1	0.1	0.2	0.3
産業廃棄物排出量	一般廃棄物の削減	kg	372.9	372.5	372.5	372.2	371.8
				0.1	0.1	0.2	0.3
	再資源化率	%	97.72	97.00	97.00	97.00	97.00
				0.1	0.1	0.2	0.3
環境苦情	クレーム	件	0	0	0	0	0

・電力の二酸化炭素排出係数:平成28年環境省報道発表の東北電力実排出係数0.528Kg-CO₂

7. 環境活動計画

環境活動計画および具体的取組を次のように設定しました。

項目		取組内容
二酸化炭素排出量削減	電力のCO ₂ 削減	① 外出時及び使用しないときは、照明消灯を確実に実行する ② 使用していない部屋は、空調を停止する ③ 可能なときは、空調の使用を抑え窓を開けたり、ブラインドで熱の出入りを調整する ④ パソコン・コピー機等のOA機器は、省電力設定にする ⑤ OA機器導入の際は、エネルギー効率の高い機器を導入する ⑥ 終業時は、OA機器のプラグをコンセントから抜く
	自動車・機械燃料等のCO ₂ 削減	① 車両のアイドリングストップを実践する ② 急発進、急加速、空ぶかしをしない ③ 運搬計画を見直し、エネルギー消費の少ない運搬を行う ④ 移動する際、相乗りで移動する ⑤ 建設機械・車両には、過積載・無理な操作等による過剰な負荷をかけない ⑥ 建設機械等の作業を停止する時、エンジンを停止する ⑦ 施工をする際は、率先して燃料消費の少ない機械を選定する ⑧ 排出ガス対策型の建設機械を使用する ⑨ 建設機械のリースは、省エネルギー型機械を優先して選定する ⑩ 建設機械・車両を購入する際は、省エネルギー型のを優先して選定する
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減	① 可能な限り、使用済み封筒の利用・印刷物の裏面利用をする ② 分別した紙ごみは、再生資源業者に引き渡し、リサイクルする
	再資源化	① 資材置場、現場事務所等で、ごみの分別・資源ごみの分別を徹底する ② 産業廃棄物管理表(マニフェスト)をもとに廃棄物の適正な処理を行う ③ 廃棄物の最終処分先を直接確認する ④ 資材発注の適正化と残余建設資材の有効活用により廃棄資材を抑制する
環境苦情削減	クレーム(環境保全の取組)	① オイルフェンスの設置等、排水の汚濁防止対策を行う ② 低騒音・低振動型建設機械の使用を行う ③ 建設現場周辺的生活環境に影響の少ない施工方法や作業方法を検討・施工する
地域活動	地域貢献活動の実施	① 事務所及び現場周りの清掃活動をする ② 地域のボランティア活動に積極的に参加し、協力や支援を行う

中期重点取組

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
電力削減	省エネ設備への交換	省エネ設備への交換	省エネ設備への交換
ガソリン・軽油	環境配慮施工の徹底	環境配慮施工の徹底	環境配慮施工の徹底
社員教育	コンプライアンスの強化	コンプライアンスの強化	コンプライアンスの強化
通常取組の継続	継続	継続	継続

8. 環境活動の取組結果と評価

(1) 令和2年度環境活動実績

項目		単位	令和2年度 1～12月 (基準値)	令和3年度 1～12月 (目標)	令和3年度 1～12月 (実績)	達成度合
温室効果ガス 排出量	電気・燃料 の削減	kg-CO ₂	365,684	365,317	514,593	×
産業廃棄物 排出量	一般廃棄物 の削減	kg	372.90	372.50	454.00	×
	再資源化率	%	97.72	97.00	99.05	○
環境苦情	クレーム	件	0	0	0	○

(2) 取組評価

二酸化炭素 削減 排出量	電力の CO ₂ 削減	環境活動計画に基づき、取組内容が継続的に定着。 4年目となる完全週休二日制についても、継続的な「週休二日モデル工事」促進により 全社として目標達成に繋がった。
	自動車・ 機械燃料等 のCO ₂ 削減	全体朝礼及び現場作業所単位での社内啓蒙等により、エコドライブが定着。 ICT準拠の油圧ショベル3台を従来機から入れ替えたが、受注高の増加及び工事内容によ る建設機械の稼働等により目標達成には繋がらなかった。
産業廃棄物	再資源化率	再生資源利用計画書に基づき、マニフェストにより適正処理。 再資源化率の目標達成に繋がった。
環境苦情削減	クレーム 環境保全取組	下水道工事に於いて、水替作業に係る使用機器の選定及び消音パネル等の養生を適 正に実施し、クレーム発生を抑制した。
環境関連法規の遵守		問題は発生していない。

環境活動取組内容の一部



電力のCO₂削減



自動車・機械燃料等のCO₂削減

積載の定量化



エコドライブステッカー貼付(全社有車)



自転車通勤状況



安全掲示板へ宣言貼付け



水道水の削減

節水表示



水洗トイレボールタップ調整



9. 次期の取組内容

次期の取組内容は、下記の通りです。

項目		取 組 内 容
二酸化炭素排出量削減	電力のCO ₂ 削減	<ul style="list-style-type: none"> ① 外出時及び使用しないときは、照明消灯を確実に実行する ② 使用していない部屋は、空調を停止する ③ パソコン・コピー機等のOA機器は、省電力設定にする ④ OA機器導入の際は、エネルギー効率の高い機器を導入する ⑤ 終業時は、OA機器のプラグをコンセントから抜く
	自動車・機械燃料等のCO ₂ 削減	<ul style="list-style-type: none"> ① 車両のアイドリングストップを実践する ② 急発進、急加速、空ぶかしをしない ③ 運搬計画を見直し、エネルギー消費の少ない運搬を行う ④ 移動する際、相乗りで移動する ⑤ 建設機械・車両には、過積載・無理な操作等による過剰な負荷をかけない ⑥ 建設機械等の作業を停止する時、エンジンを停止する ⑦ 施工をする際は、率先して燃料消費の少ない機械を選定する ⑧ 排出ガス対策型の建設機械を使用する ⑨ 建設機械のリースは、省エネルギー型機械を優先して選定する ⑩ 建設機械・車両を購入する際は、省エネルギー型のを優先して選定する
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> ① 可能な限り、使用済み封筒の利用・印刷物の裏面利用をする ② 分別した紙ごみは、再生資源業者に引き渡し、リサイクルする
	再資源化率	<ul style="list-style-type: none"> ① 資材置場、現場事務所等で、ごみの分別・資源ごみの分別を徹底する ② 産業廃棄物管理表(マニフェスト)をもとに廃棄物の適正な処理を行う ③ 廃棄物の最終処分先を直接確認する ④ 資材発注の適正化と残余建設資材の有効活用により廃棄資材を抑制する
環境苦情削減	クレーム(環境保全の取組)	<ul style="list-style-type: none"> ① オイルフェンスの設置等、排水の汚濁防止対策を行う ② 低騒音・低振動型建設機械の使用を行う ③ 建設現場周辺的生活環境に影響の少ない施工方法や作業方法を検討・施工する
地域活動	地域貢献活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ① 事務所及び現場周りの清掃活動をする ② 地域のボランティア活動に積極的に参加し、協力や支援を行う

《次期環境目標設定書》

コア指標	環境方針	環境目標項目	部門責任者／担当者	削減率又は 単位	基準年度 基準値 (R2年度)	年度毎目標(基準年度に対する削減(増加)率)(目標値)			
						当期目標 R03年度	中期目標 R03年度 R04年度 R05年度		
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量 の削減	電力の二酸化炭素排出量の削減	総務部長	削減率(%)	31,216	0.1	0.1	0.2	0.3
				kg-CO ₂		31,185	31,185	31,154	31,122
		ガソリン・軽油等の二酸化炭素の削減	管理部長	削減率(%)	329,375	0.1	0.1	0.2	0.3
				kg-CO ₂		329,046	329,046	328,716	328,387
		灯油、LPG等の二酸化炭素の削減	総務部長	削減率(%)	5,093	0.1	0.1	0.2	0.3
				kg-CO ₂		5,088	5,088	5,083	5,078
廃棄物排出量	廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	総務部長	削減率(%)	372.9	0.1	0.1	0.2	0.3
				kg		372.5	372.5	372.2	371.8
		産業廃棄物の再資源化率	管理部長	増加(%)	97.72	0.1	0.1	0.2	0.3
				%		97.00	97.00	97.00	97.00
環境苦情	クレーム	環境苦情	営業部長	件	0	0.0	0.0	0.0	0.0
						0	0	0	0
社員教育		緊急事態訓練・EA21取組み教育 ほか	総務部長	回	7	7	7	7	7
地域貢献		社内環境美化活動・地域清掃 ほか	総務部長	回	16	16	16	16	16

10. 環境関連法規への違反、起訴等の有無

環境関連法規への遵守状況は、令和3年12月に法規遵守チェックリストで確認し、その結果は下表の通りです。

内 容	結 果
法律違反の有無	無
訴訟の有無	無
環境に関する苦情の有無	無

11. 地域貢献活動

地域貢献活動として、次の活動を行いました。

	名 称	主催者
随時	社内等環境整備	当社
4月	北上川流域清掃活動	岩手県建設業協会奥州支部
6月	一般国道397号の道路清掃作業	当社
7月	建設業ふれあい事業	岩手県建設業協会奥州支部青年部
7月	アドプト協定に基づく草刈活動	奥州市建設業協会 江刺支部
8月	いわての道ボランティア活動等支援事業(クリーンロード作戦)	岩手県建設業協会奥州支部青年部
9月	倉沢地区下水道処理施設剪定・除草・清掃	江刺上下水道工事業協同組合
9月	国道456号・県道一関北上線の清掃活動	奥州市建設業協会 江刺支部

4月 北上川一斉清掃



6月 一般国道397号の道路清掃作業



7月 アドプト協定に基づく草刈活動



9月 倉沢地区下水道処理施設剪定・除草・清掃



12. 代表者の評価と見直し

代表者の評価と見直しは、以下の通りです。

項目	評価	改善・指示
環境方針	近年、多方面で「安心・安全」を重視する取組が強化されている。地球環境の取組も「安心・安全」が根底にある。CO ₂ の削減は勿論、地域に密着した事業活動により地域の信頼を得ているものとする。	地域の「安心・安全」と環境を守るため今後も環境活動を継続的に実施する。
環境目標	環境活動計画に基づく、取組が継続的に定着。「週休二日モデル工事」の促進により、実施作業所が増え 全社として目標達成に繋がった。	環境負荷の削減を図り、全現場への展開を推進する。
環境活動計画	車両重機の適切な増車・入替を計画実施。最新の排ガス基準をクリアし、燃料消費量を大幅に削減する事で大きな効果があった。	費用対効果を鑑みて、必要に応じた設備投資を積極的に実施。仕事環境の改善を目指しつつ環境活動を実施する。
社員教育・地域貢献	情報を集め、積極的に各種講習会への参加、資格試験の挑戦を計画・実施した。作業に必要な教育を受ける事で人員投入の幅が広がった。地域貢献活動は、積極的な活動により地域の信頼に繋がった。	今後も、積極的に教育訓練並びに地域貢献活動へ参加し、充実した業務の実現のため、計画及び実施する。
全体	環境への取組みを開始してから9年が経過、環境活動計画に基づき実施され定着している。未だ収束な見えないコロナ禍にあっての作業環境ではあるものの、比較的影響が少ないこの業界。しかしながら、地球温暖化による自然環境の変化を一番肌で感じているのもこの業界。常に「環境活動」の重要性を考えながら、積極的かつ継続的に活動を実施するつもりである。	